

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

1【住む】集落・地域の活性化と宍粟市への移住支援

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況（H29）	重要業績評価指標（KPI）	目標値（基準値）	H27	H28（単年）	H29（単年）
①集落・地域の活性化	ア 地域コミュニティの活性化	地域づくりNPO 法人の育成と支援	NPO設立等の相談に対応。	自治会活動・子ども会活動など地域活動に参加する人の割合	70.0% (H25：61.5%)	-	-	-
		女性による公益活動への支援	「宍粟女子キラキラパワーアップ応援事業（補助金）」により7団体へ活動支援を実施。「キラッとしそ☆パワーアップ女性セミナー（全5回）」及び「女性のためのチャレンジ相談等（全3回）」を開催。					
		地域おこし協力隊の受け入れ	観光振興支援(1人)、森林セラピー事業支援(2人)、一宮町繁盛地区での地域活性化支援(1人)、千種町の学校跡地利用を中心とした地域活性化支援(1人)で、それぞれ隊員を配置し、各事業の支援を実施。					
		地域防災力の向上	山崎地区自治会を対象に、2会場で自主防災マップ作成講習会を開催。また、波賀町において、自主防災会をはじめ、関係機関との連携による防災訓練を実施。さらに、幼保小及びこども園の防災学習経費支援を新設し、1団体に支援実施。					
		地域づくり団体等の連携体制の強化	6地区の地区自治会にコミュニティ活動の醸成、地区活動の連携強化に繋がる取組支援を実施。					
		スポーツ活動を通じた“元気な宍粟”に向けた取組の推進	しーたん放送によるラジオ体操放送の実施及びウォーキング大会、サッカー教室、カヌー教室の開催により幅広い年齢層のスポーツ活動を推進。市民体力測定の実施により今後の取組に向けたデータ収集を実施。					
	イ 再生可能エネルギーの活用支援	小水力発電の推進	市内で候補地2か所（一宮町中坪・千種町黒土）を選定し、事業性評価調査を実施。	市域のエネルギー自給率	42.0% (H25：28.8%)	41.4%	47.9%	-
		木質バイオマスの利用推進	木質バイオマス燃焼機器の購入を支援。 申請件数：ペレット・薪ストーブ8件・薪割機1件					
		太陽光発電の推進	自治会の敷地や、住宅・事務所屋根への太陽光発電設備の設置を支援。 申請件数：32件					
	ウ 持続可能な公共交通の確保	市内路線バスのネットワーク化による利便性の向上	運行費支援（市外連絡路線4路線、市内完結路線25路線、広域路線5路線）、循環バスの本格運行開始、バス利用推進員（88人）の配置、軽微な運行見直しなどにより利便性の向上と利用推進を図っている。	市内路線バス利用者数	5年間で100万人 (H26：16.6万人)	15.5万人	37.4万人 (21.9万人)	63.3万人 (25.9万人)
エ 地域の賑わいの創出～生活圏の拠点づくり～	市民局を中心とした賑わい空間の創出と公共施設の集約化による利便性の向上	一宮町域において、拠点づくり計画に基づき拠点施設の基本計画、基本設計に取り組んだ。また、千種町域で拠点づくり計画策定に向けた検討委員会を開催。	-	-	-	-	-	
オ 地域包括ケアシステムの構築	医療と介護の連携強化	医師会、歯科医師会等の医療サービスと介護サービスの関係機関で連携推進の方向性や具体的な施策を協議する「医療と介護の連携会議」を開催（3回）。また、介護支援専門員を対象にケアマネジメントに必要な在宅医療講座を開催し、連携強化を図った。	「いきいき百歳体操」に取り組む高齢者登録者数	1,300人 (H26：583人)	1,372人	1,753人	1,901人	
	生活支援サービスの充実	生活支援コーディネーターを中心に、生活を支援するサービスを対象者に応じて提供できる体制づくりを進めている。また、市民や関係者に生活支援コーディネーターの役割を理解してもらうための啓発活動を実施し、円滑な活動に繋げるとともに、生活支援を通じた「支え合いの地域づくり」への意識啓発を行った。						
	自治会、老人クラブ、ボランティアグループ等による身近な地域での支え合いの体制づくり	地域住民が主体となった健康づくりや介護予防に取り組む「通いの場」を増やし、その活動の充実を図った。また、通いの場へ専門職等の講師を派遣し講座等を開催。 住民主体で運営する通いの場開設状況：98か所（山崎40、一宮28、波賀19、千種11）						

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況（H29）	重要業績評価指標（KPI）	目標値（基準値）	H27	H28（単年）	H29（単年）
② 移住希望者の受け入れ促進に向けた体制の構築	ア 空き家の活用による移住・定住の促進	空き家バンクの運営	宍粟市への移住・定住をサポートするため、空き家バンクを通じた情報提供や定住コーディネーターを中心としたサポート体制の整備、さらに移住のきっかけとなる体験住宅の活用を進めるとともに、若者子育て世代の住宅取得を促進するための補助制度の充実等、総合的な施策を展開。	空き家活用制度による移住世帯数	5年間で50世帯（H26：7世帯）	22世帯	41世帯（19世帯）	50世帯（15世帯）
		定住促進コーディネーターの設置						
		お試し移住体験事業						
		空き家への移住促進の支援						
		定住促進ガイドブックの作成						
イ 移住・定住の住宅地支援	宝谷住宅分譲地への支援	子育て世代への支援制度を設けて、分譲地の利用促進。	契約成立件数	累計8件（～H26：3件）	0件	0件	0件	
ウ 「生涯活躍のまち」構想による移住の促進	都市圏等からの高齢者の受け入れの調査・研究	先進地である「シェア金沢」の視察を実施し、調査研究を進めたが、方向性の判断までは至っていない。引き続き調査・研究を進める。	—	—	—	—	—	
エ 通勤・通学の支援	阪神間等への通勤・通学費用の支援	中播磨、西播磨以外の地域への通勤・通学に係る公共交通1カ月あたりの定期券料金の1/3を支援。通勤2人、通学18人に支援（県内19人・県外1人）し、利用者は増加傾向。	通勤・通学助成件数	5年間で50件	15件	31件（16件）	51件（20件）	

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

2【働く】雇用の創出と就職支援

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況 (H29)	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (基準値)	H27	H28 (単年)	H29 (単年)
③ 地元企業・事業者の育成と発展	ア 宍粟市産農林水産物等の振興	地域資源を活かした農林産物等の特産品化の推進	宍粟市特産品ブランド認証制度により、新たに8品を認証（合計17品）。認証商品を観光協会パンフレット及びHPに掲載し、特産品化の推進を図った。	市内農業総生産額【年間】	14.29億円 (H27：14.09億円)	14.09億円	13.49億円	12.22億円
		北部地域の農産物の集配の実施	流通事業者等と連携し、北部地域の生産・集出荷農家の把握を行う中で、支援策とあわせ集出荷方法を検討していたが、北部地域全体の生産・集出荷農家の把握及び集配が難しく事業展開が困難との判断に至った。					
		振興農産物の学校給食への活用	主食の米をはじめ、じゃがいも、玉ねぎなど宍粟産の農産物を学校給食へ活用。地産地消率：71.5%					
		竹チップ等を活用した農産物の生産	竹用破砕機の貸出により、竹チップやパウダーの農業利用を推進。					
		宍粟市産物販売促進事業	市内・市外の直売所における「宍粟産物応援キャンペーン」の継続実施や宍粟の農産物を利用したレシピ集により宍粟産物の販売を促進。畑の講習会を実施（7回開催・参加者12名）により生産者のサポートを実施。直売所の来客数が僅かに増加。					
		農林水産物の6次産業化の推進	起業家支援や産業連携促進事業により支援。産業連携促進による6次産業化支援実績：1件					
	イ 宍粟材の普及、森林整備の促進	宍粟材普及促進	宍粟材を使った家づくりへの支援や宍粟材共同販売施設の運営による宍粟材の普及促進に努めた。また、地域イベントを通じて森林整備の重要性の周知を図った。	素材生産量【年間】	96,200m ³ (H25：80,203m ³)	87,989m ³	127,098m ³	—
		森林整備・管理の促進	保育管理の不十分な森林において、間伐事業や収益性の低い人工林を繰り返し群状に伐採し広葉樹林化を図り、山地災害防止や野生動物の生育環境の保全に配慮した多様な森林の整備を推進。	宍粟材利用家屋建築への支援件数	5年間で65件 (H26：16件)	12件	20件 (8件)	23件 (3件)
	ウ 企業等への支援	産業振興資金の融資と利子補給の支援	金融機関を通じて、中小企業者の事業活動に必要な低利の融資を実行するとともに、当該融資利用者に対して1%の利子補給を行っている。	従業者数（工業統計）【年間】	現状値維持 (H25：4,605人)	—	4,114人	3,329人
		ビジネスマッチングフェアの開催	企業間の交流を促進し、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、出展事業者の魅力を広くPRするためのビジネスサポート企業展示会を開催。					
地場産業キャリアアップセミナーの開催								
市内の農林水産業者と商工業者等の産業連携支援		産業連携促進事業により農林漁業者と中小企業者等の産業連携を支援。	従業者数（商業統計）【年間】	現状値維持 (H24：2,389人)	—	2,334人	—	
宍粟ゆかりの企業懇談会		宍粟市にゆかりがある企業人の候補者リストアップ。						
大学等連携による商店街の賑わいづくり	県立大学との連携により、山崎町商店街の空き家を改修し、学生が地域活性化を考える拠点を整備。							
④ 雇用の場の確保	ア 農業の担い手育成支援	就農・定住促進事業	市内で新規就農・定住する者に、営農継続への奨励金を支援するとともに、就農希望者向けの農地付き住宅を安価に提供している。	若者の新規就農者数	累計5人	2人	3人 (1人)	5人 (2人)
		就農初期段階の青年就農者への給付金支援	経営の不安定な就農初期段階の次世代を担う農業者に対して農業次世代人材投資資金を給付。					
	イ 林業の担い手育成支援	「県立ひょうご林業大学校（仮称）」の誘致	森林大学校学生用シェアハウスを3棟（定員11人）整備し、目標の定員20人の住居を確保。併せて、下宿費補助を行うことで入学希望者の確保に繋げた。	新規林業雇用者数	5年間で20人 (H26：5人)	3人	6人 (3人)	9人 (3人)
		林業担い手の育成	新規事業者が新規従業者を雇用し、育成するために必要な経費を支援することで、担い手の確保・育成の促進を図っている。					

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況 (H29)	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (基準値)	H27	H28 (単年)	H29 (単年)
④ 雇用の場の確保	ウ 企業立地の促進	企業誘致推進員の設置	推進員の募集を行ったが、設置には至っていない。	製造品出荷額【年間】	現状値維持 (H25:637.4億円)	-	568.5億円	609.5億円
		産業立地促進に向けた支援	固定資産税の課税免除のほか、8種の助成制度により市内での操業を支援。新規認定:4社(市内移転、増築) 助成:6社					
		支援策の積極的な情報発信及び相談会の開催	商工業関連の支援制度をまとめた冊子をホームページ、金融機関、商工会、不動産事業者などを通じて周知。各種イベント時にも相談窓口を設け、積極的な制度の活用を呼びかけを実施。	商品販売額【年間】	現状値維持 (H24:412.3億円)	-	507.1億円	-
		遊休施設(無償貸付)を活用した企業誘致の推進	学校跡地等の無償貸付を実施。市ホームページで市内の遊休施設(無償・有償)を紹介し、企業誘致を推進。					
		IT関連企業等の立地促進	県のIT関連事業所支援制度等を活用しながら、地理的制約の少ないIT関連企業等の立地を促進。市内の空き家、空き店舗を活用し立地するIT関連企業に対し、賃料、通信回線料、施設改修費、事務機器取得費の一部を助成(県1/2、市1/4)。H29実績:1件	企業立地相談件数【年間】	15件 (H26:14件)	12件	16件	9件
エ 起業家支援の推進	起業家への支援	起業や第二創業に必要な経費を支援(1/2、上限300万円)。また、新規雇用や販路開拓のためのPR経費に対しても支援。H29実績:8件	創業者実数	5年間で67件 (H26:3件)	2件	3件 (1件)	11件 (8件)	
	創業支援のワンストップ窓口の設置	創業支援協議会を設置し、市を窓口として創業支援に関して対応。						
	創業塾・創業相談会の支援	創業支援計画による創業塾・創業相談会を開催し経営者や創業者をサポート。						
	クラウドファンディングへの相談窓口の設置	ひょうごふるさと応援・成長支援事業等を紹介。						
⑤ 若者の就職支援の促進	ア 企業の情報発信の推進	合同企業説明会等若者と企業のマッチング	企業と就職希望者双方のニーズに対応するため、市単独及び広域連携による企業説明会を開催。出展企業18社、参加者86人(市単独)	合同企業説明会での新規雇用数	5年間で35人 (H26:4人)	-	-	-
		市内企業情報の提供	無料職業紹介所を設置し、市内企業の新規求人開拓と、求職者への就職相談等各種支援を実施。					
	イ 就労相談・支援の充実	市内と近隣市町村の求人情報の宍粟市独自の提供	また、ハローワークとの連携による求人情報の提供や相談会を開催。					

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

3【産み育てる】少子化対策

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況 (H29)	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (基準値)	H27	H28	H29
⑥ ライフプランを考える機会の創出	ア ふるさと意識の醸成	環境体験事業	小3児童を対象に、地域の自然観察や栽培・飼育など五感を使って自然に触れ合う体験型環境学習の実施を支援。	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	現状値を上回る (H27:小 94.7% 中 79.5%)	小 94.7% 中 79.5%	小 92.7% 中 80.7%	小 86.9% 中 84.7%
		ふるさと宍粟探検隊	小4児童を対象に、地域の特性や暮らしについての学びを深め、郷土への誇りや愛情、愛着を育む事業の実施を支援。					
		自然学校	小5児童を対象に、豊かな自然の中で人や自然、地域社会とのふれあいを通じ、主体性・共生心を育むための長期宿泊体験の実施を支援					
		地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」「トライやる・アクション」	中2生徒を対象に、地域での1週間の職場体験・農林水産体験を通じ、他者への理解と自立性を育むための活動の実施を支援					
		ようこそ先輩（学習会・講演会）	各小中学校で、地域出身の著名人などを学校に招き、ふるさと宍粟に対する愛着や感謝を子どもたちに伝える事業やふるさと学習に取り組んでいる地域活動家による講演会などの実施を支援。					
		地域活動家によるふるさと学習						
	イ 次世代を担う人材の育成	キャリア教育の推進	各小中学校で、進路への関心・意欲の高揚を図るとともに、ふるさと宍粟に対する興味関心を高め、将来的に“宍粟で生きる”ことを選択できるよう、地域人材による交流体験活動や市の諸施策と連動した職場体験等の事業を支援。	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	全国平均以上 (全国平均H29 小85.9% 中 70.5%)	小 86.3% 中 67.8%	小 84.8% 中 75.6%	小 85.8% 中 74.1%
		出会いふれあい子ども教室	中3児童を対象に、乳幼児や園児、その保護者との交流するふれあい教室の実施を支援。					
	ウ 結婚支援の推進	婚活セミナーの実施	独身男女の交流イベントの開催（2回）及び相談員による結婚相談・セミナーを開催。また、独身男女が集まる会合や交流会の開催助成を実施。	カップル成立数	5年間で75組	20組	46組 (26組)	73組 (27組)
		出会いイベントの開催	併せて、消防団員の将来的な地元定着、少子化対策として消防団独自の独身男女が交流するイベントを開催。					
⑦ 安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくり	ア 妊婦健康診査費等に係る支援	妊婦健康診査費の助成	妊娠全期を通じた妊婦健診に係る費用を助成（階数14回、93,000円上限）。	妊婦健康支援率	95.0% (H26：93.5%)	97.5%	98.6%	108.70%
		特定不妊治療費の助成	特定不妊治療に要する費用の一部を助成（上限10万円）。					
		不育症治療費の助成	不育症治療に要する費用の一部を助成（1年度30万円を上限）					
		不妊・不育症に関する相談	相談があれば、保健師が対応し、必要があれば医療機関等へつなぐ。					
	イ 子育て支援の充実	乳幼児・子ども医療費・未熟児養育医療費の助成	0歳～中3までの乳幼児等及び医療を必要とする未熟児に対し、医療費の自己負担額を全額助成（所得制限なし）。	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	93.0% (H26： 全国平均 91.1%)	94.8%	96.2%	97.4%
		医師・看護職員の確保	医師・看護師等の資格取得のための修学資金を貸与。総合病院等への就業で修学資金の返還を免除。 H29実績：医師1名 看護師9名					

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況（H29）	重要業績評価指標（KPI）	目標値（基準値）	H27	H28	H29
⑦ 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	イ 子育て支援の充実	認定こども園の推進	2園設置済み。2地域で設計業務に着手し、1地域で用地取得等今後の設置に向けて取組を進めている。	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	93.0% (H26： 全国平均91.1%)	94.8%	96.2%	97.4%
		子育て世代包括支援センターの体制整備	子育て世代包括支援センターを開設し、母子保健コーディネーターによる妊婦期から子育ての相談・支援・健診等を切れ目なくサポート。また、出産前後に利用できるサービスを充実させ、安心して子育てができる環境を整備。					
		地域子ども・子育て支援事業（一時預かり・延長保育・学童保育の実施）	子ども・子育て支援制度の「地域子ども・子育て支援」のうち、一時預かり、延長保育、特別支援保育、学童保育、実費徴収に係る補足給付を実施。					
		乳幼児訪問指導から5歳児健診の実施	新生児から就学前の幼児に対して家庭訪問や各種健診を実施。療育や支援が必要な幼児には、個別に継続的な支援を実施。					
⑧ 仕事と家庭をともに大事にするまち（ワークライフバランス）	ア ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	ワーク・ライフ・バランスに関する講演等の開催	啓発講演会の開催による男女共同参画の推進を進めるとともに、「キラッとしそ☆パワーアップ女性セミナー（全5回）」及び「女性のためのチャレンジ相談等（全3回）」を開催し、女性の社会参画をサポート。	宍粟市内の25歳～44歳の女性の就業率	79% (H22：72.5%)	78.6%	—	—
		女性の再就職支援の講座の開催						
		男性の家事・育児への参加促進						
イ 企業の取組支援	ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定	ひょうご仕事と生活センターが行う認定制度を推進。	「ひょうご仕事と生活の調和」推進企業認定数	5企業	0企業	0企業	0企業	0企業
	企業内研修会の支援	ひょうご仕事と生活センターの無料相談員派遣や各種制度の活用を周知。						
	ワーク・ライフ・バランスに関するアドバイザーの派遣							

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

4【まちの魅力】選ばれるまちづくり

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況（H29）	重要業績評価指標（KPI）	目標値（基準値）	H27	H28（単年）	H29（単年）
⑨ シティ のプ ロモ ー シ ョ	ア 宍粟の情報 発信の推進	ふるさと納税の推進	宍粟市に寄付（ふるさと納税）いただいた方に市の特産品などの返礼品を贈呈。返礼品の見直しや、民間の紹介サイト等を活用した全国的なPRを展開。	ふるさと納税寄付金額	5年間で11.5億円 (H26：1.3億円)	2億円	3.3億円 (1.3億円)	4.4億円 (1.1億円)
		ふるさと市民制度の推進	市ホームページ、ふるさと納税の寄付者、アンテナショップ等の来客者、宍粟市出身者などに加入を呼びかけ。また、成人式や市内高校3年生へ制度周知と加入呼びかけを行った。加入者に対しては、毎月の広報紙送付やイベント情報の提供により、宍粟市に愛着を持ってもらえるよう取り組んだ。	ふるさと市民制度登録者数	300人 (H26：200人)	267人	277人	346人
⑩ 広 域 の 連 携 力 に よ る 宍 粟	ア 連携中枢都 市圏・定住自立 圏による連携事 業の推進	広域観光連携事業	播磨圏域のスケールメリットを活かした自転車観光を推進。市内各所に自転車ラックの設置を行い、サイクリストの誘致に向けた環境を整備。また、連携中枢都市圏において、観光振興・特産品の販売促進等に関する連携協定をイオン（株）と締結。イオン山崎店で「日本酒」と「発酵文化」に関するPRイベントを開催。	広域連携事業数 (連携中枢都市圏)	41事業	8事業	17事業 (9事業)	27事業 (10事業)
		播磨圏域ブランド連携事業						
		図書館相互利用促進事業						
⑪ 移 住 促 進 に つ な が る 交 流 の 活 発 化	ア グリーン ツーリズムの展 開	森林セラピーの推進と周辺環境整備	森林セラピーの推進のため、セラピー受講・体験イベントや出張健康チェック、新たにツアーを開催するとともに、ガイドの養成・スキルアップに取り組んだ。また、施設整備（駐車場整備・運路整備）により周辺環境の整備に取り組んだ。	森林セラピー体験者数【年間】	3,000人	—	947人	644人
		氷ノ山ツーリズムの推進	氷ノ山ツーリズムバスの運行により氷ノ山観光の取組を推進。また、登山口の入口に新たにトイレと駐車場を整備することで、登山者の利便性を図り、利用者の増加を図った。	氷ノ山ツーリズム登山者数【年間】	10,000人	3,096人	3,393人	3,263人
		音水湖エリアの利活用推進	音水湖を西日本一のカヌー競技場とするため、駐車場整備や競技場施設整備等大会誘致に向けた取組を進め、目標としていた「関西学生カヌー選手権大会」の誘致に成功。また、取組が評価され（公財）日本カヌー連盟主催のカヌースプリントジュニア海外派遣選手最終選考記録会の誘致に繋げることができた。	カヌー利用者数【年間】	10,000人 (H26：7,469人)	9,836人	7,868人	10,455人
	イ 観光資源の 魅力向上	宍粟彩りの回廊プロジェクト（仮称）	市全域の魅力ある景観の創出のため、国道・県道沿いの山林や揖保川・千種川の河川沿いなどへの植樹に用いるに樹木の苗（桜・紅葉）の育成を行い、地域が自主的に行う植樹活動を支援。	年間観光入込客数	136万人 (H26：121.7万人)	127.6万人	116.5万人	106.2万人
		もみじ山等の景勝地の整備と強化	最上山公園もみじ山の計画的な樹木の更新、規模拡大を図るとともに、もみじ以外の樹種の植栽に取り組み、年間を通して楽しめるようにすることで利用者の増加を図っている。また、最上山公園の老朽施設の撤去及びトイレ新設により利用者の利便性向上を図った。					
		50名山の活用(女性コース、ファミリーコース等の設定による新たな登山者の開拓)	50名山ふれあい登山会開催、山の日記念「ミステリー登山会」開催、50名山ファンクラブ会員募集などにより50名山の活用を推進。また、宍粟別撰5名山を選定し、5名山完全登破スタンプラリーの実施など新たな登山者の開拓に取り組んだ。					

宍粟市地域創生総合戦略KPI・個別事業一覧表

主な取組	取組の内容	具体的取組	取組状況（H29）	重要業績評価指標（KPI）	目標値（基準値）	H27	H28（単年）	H29（単年）
⑪ 移住促進につながる交流の活発化	イ 観光資源の魅力向上	観光施設の機能の充実	利用者にとって不便を感じる施設配置となっていた道の駅みなみ波賀を農林水産物直売所、生産物直売所、レストラン、公衆便所が一体となって利用できるように改修し、施設の利用促進を図った。	年間観光入込客数	136万人 (H26：121.7万人)	127.6万人	116.5万人	106.2万人
		R29自転車・バイクのツーリング環境の充実	鳥取県・兵庫県・沿線市町等との連携によりR29の活性化を図るバイクツーリングイベントを企画（雨天により中止）。また、産官学の連携によりR29沿線の店舗等に自転車ラックを設置し、環境整備を図った。					
		波賀森林鉄道についての調査・研究	波賀森林鉄道の遺構や引原ダム建設時の遺構を巡るモニターツアー、森林鉄道軌道跡の現地調査を実施。モニターツアーのアンケート結果や軌道跡の現地調査について、情報共有も兼ねた森林鉄道の勉強会を開催。					
	ウ 観光振興に向けた推進体制の強化	観光振興に関する支援	観光振興を図るため、観光協会への支援を実施。観光協会を中心に様々な人や団体を繋ぐ場づくりを推進。「食」による観光振興を図るため、観光事業者や地域づくり団体等による特産品開発のワークショップを開催。また、プラットフォームの拠点となるふるさと宍粟観光ステーションの整備を進めるため、設置場所などを検討中。					
		観光プラットフォームの体制の構築						
		観光ステーションの設置						